

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 就労準備型・放課後デイサービス
Be Smile Masters

保護者等数(児童数)

回収数 18

割合 94 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	1	0	0	・きれいな部屋でパソコンを出来るので十分ですが集中して勉強をするスペースはない様です ・利用人数にもよると思う	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	1	・パソコンに詳しい先生が休みの日は教えてもらえず苦痛の様です	職員は既定の配置数以上に配置させて頂いています。また、お子様のコミュニケーション能力学習の一環として職員の限定はしておりません。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4	2	0		トイレなどの問題があり対応が出来ていません。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	0	0	0	・子供の特性をよく解って頂けていて助かっています ・Beスマイルさんでの課題をもう少し増やして頂けると、子どもがヒマになった時にどうしたらいいのか分からないようです。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	1	1	1	・子どものやる気の部分もあると思うので難しいところではあります	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	7	6	0	・コロナの影響の為致しれないかと思ひます ・時間帯が合わないのでは仕方ないと思ひます ・必要性を感じていない	前年度より、コロナ感染問題により、対応が出来ておりません。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	1	0	・問題なし	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	1	0	・活動記録で理解出来ています	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	1	0	・何かあれば電話で連絡とれているので問題ないです	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	10	5	0	・コロナの影響の為致しれないかと思ひます ・金があるのかわかりませんが必要性は感じていません	コロナ感染の状況下において対応は控えさせて頂いています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4	0	0	・困った時は即連絡させてもらい対応してもらっています	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2	0	0	・連絡帳があるので問題ないです	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3	1	0		
14 個人情報に十分注意しているか	17	0	0	1	・問題なし		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	4	0	0		ご利用決定時にご説明を徹底させて頂きます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	5	0	1		2回/年火災と地震を想定した訓練を実施いたします。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	1	0	・パソコンをしっかりと教えてもらった時はとても機嫌が良いです ・本人の問題ですが	
	18 事業所の支援に満足しているか	17	1	0	0	・パソコンの先生お休みの時教えて頂ければ他の勉強(英検等)やる様に伝えておくことができます	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 就労準備型・放課後デイサービス Be Smile Masters

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	1名あたり7.58㎡を確保しています。	面談室や静養室も設備しており、指導を行うには十分なスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	0	常時3~4人の職員を配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	施設は6階にありますが、エレベーターがあります。	バリアフリー化は建物の構造上限界がありますが、施設内の段差はほぼありません。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3	職員間で情報共有後に個別支援計画などを作成しています。	毎月定例の職員会議を設けて、目標設定や振り返りを話し合う機会を増やしていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年に1度定期的にアンケート調査を行い、業務改善に努めます。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	開所が令和2年9月なので、自己評価は今回が初めてです。	事業所ホームページにて毎年公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者による外部評価は受けていません。今後必要に応じて検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	3	外部研修を必要に応じて参加し、職員間で情報共有しています。	新型コロナウイルスの影響により、外部研修を行っていませんが、オンライン配信の研修は適時受講しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	利用開始に個別支援計画を作成しています。また、6ヶ月に1回以上計画を策定しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	入所時アセスメントを実施しています。標準化された指標を目安に利用者の状況把握に努めています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	個別支援計画に沿ったカリキュラムを職員間で考え、指導しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	日替わりでカリキュラムを職員間で考え、指導しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	平日は学習、PC、SSTを中心にしています。休日や長期休暇は集団プログラムや創作活動、学習、PC、SSTなど様々なカリキュラムを行います。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	個別活動を主にしますが、休日や長期休暇などは集団活動を主にしています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2	利用者の状況に応じて当日の支援内容を話し合い、職員間で共有します。	利用者が利用前に、具体的な支援内容を話し合い、役割分担まで話し合う機会を増やしていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	支援終了後、利用者1人1人の経過記録を作成し、職員間で共有しています。当日勤務していなかった職員も次回までに確認しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	利用者1人1人の経過記録の取り方を統一しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	6ヶ月に1回以上を目安にモニタリングを行います。経過記録や職員会議を行い、モニタリングと同時に個別支援計画の策定も行います。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2	社会性スキル向上のため個別活動・集団活動を組み合わせたカリキュラムを行います。	新型コロナウイルスの影響により、外部体験を行っていませんが、適時状況に応じて行います。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。また、必要に応じて最もふさわしい者も参画しています。	新型コロナウイルスの影響により、会議の回数は少なくなっていますが、電話やメールなどで情報共有を図っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	保護者の方から学校の年間計画・行事予定を教えて頂いています。また、利用者の体調や様子などに異変を感じた場合は迅速に保護者の方へ連絡を致します。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4		事業所への協力医療機関がございます。また、入所時に係りつけの医療機関がある場合、連絡体制を整えるように努めます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		保護者の方からの書面にて情報共有を図っています。今後相互理解を深めるための連携を図ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	卒業後の就職先に利用者の情報を提供するように努めています。	卒業後の移行先事業所との情報共有を深めるために連携を図ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		現在、専門機関からの助言や研修は受けておりません。必要に応じて児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携を図るか検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		新型コロナウイルスの影響により、積極的な実施をしておりません。適切な連携と利用者が地域社会への参加を踏まえて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	大阪市淀川区地域自立支援協議会こども支援部会へ参画しています。	新型コロナウイルスの影響により、積極的な実施はしていませんが、引き続き適切な連携に努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎がある場合は送迎時に利用者の状況をお伝えしています。必要に応じて電話連絡や面談の機会も作っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4		新型コロナウイルスの影響により、積極的な実施はしていませんが、「発達障害のある子どものペアレント・トレーニング」を受講しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	見学時と契約時に書面を用いてできる限り丁寧に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	送迎がある場合の送迎時や、保護者からの要望に応じて適時面談を行っています。	保護者の方との定期的な面談を検討していく方針です。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	事業所開設前の令和2年8月に保護者説明会を実施しております。	新型コロナウイルスの影響により、積極的な実施はしていませんが、引き続き適切な連携に努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	苦情受付担当者や責任者を設置し、体制を整備しています。また、契約時に内容について説明もしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3		現在、会報等を発行していません。必要に応じて実施を検討します。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意書に署名を頂いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	重要事項説明書にルビを記載し、保護者の方に配慮が必要な事項について事前にお伺いしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		事業所の行事に地域住民を招待していません。今後、地域の方や保護者の方からの要望があれば検討します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	マニュアルを策定し、事業所内に保管しています。職員にも研修を行い、保護者の方にも契約時にご説明しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2	防災訓練を年に2回実施しています。	防災訓練計画を策定し、より効果的な防災訓練ができるように努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	虐待防止の研修を職員に随時実施しています。	今後も児童虐待について定期的な研修の実施をしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	現在、具体的に身体拘束を必要とする利用者はいないため、放課後等デイサービス計画に記載していません。	必要に応じて、保護者の方に説明する機会を検討します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	保護者の方にアレルギーについて事前にお伺いし、書面に残して対応しています。	必要に応じて、医師の指示が必要な対応を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	発生したヒヤリハットを報告書にまとめています。全職員確認の上、管理しています。	